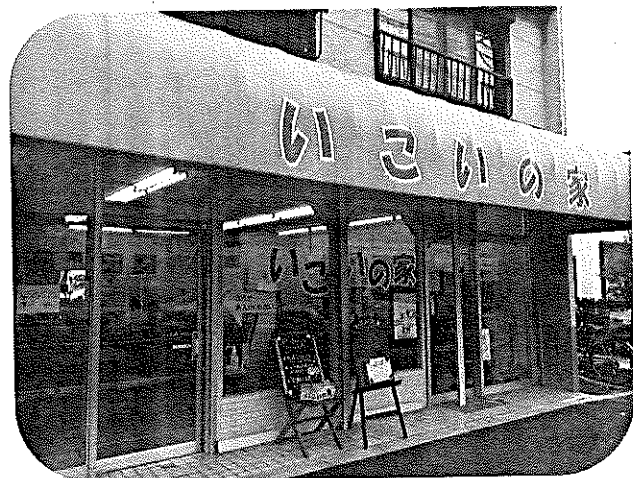


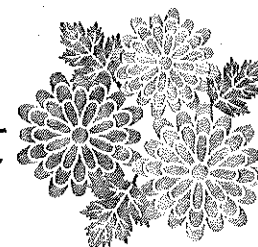
常設サロン「いこいの家」



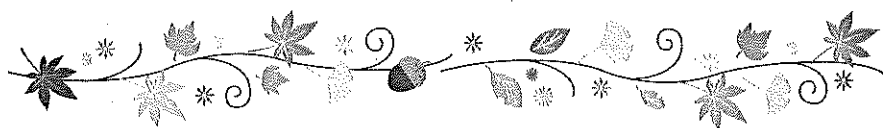
令和4年11月29日 和泉中央地区社会福祉協議会 会長 辛島直恵
事務局長 京増房枝

1

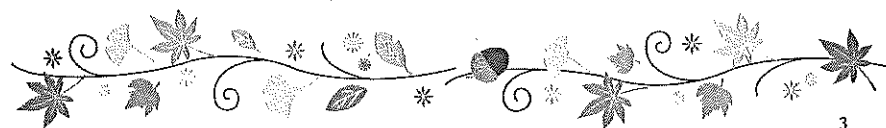
- (1) 和泉中央地区について
- (2) 「いこいの家」ができた経緯
- (3) 「いこいの家」の取り組み
- (4) 活動継続の秘訣
- (5) これからの活動について



2

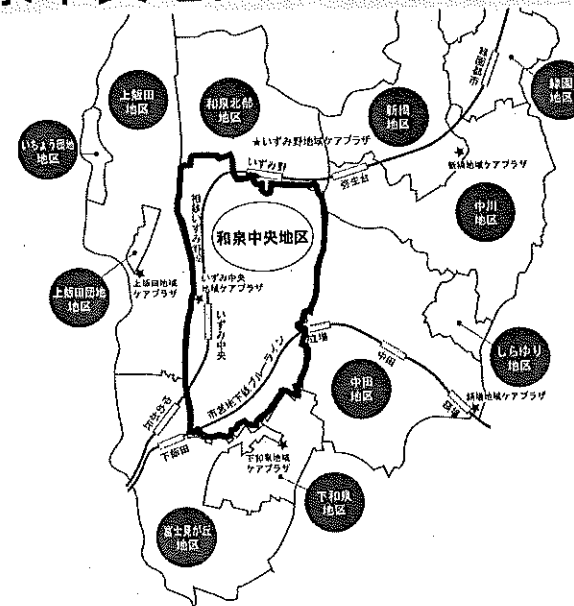


(1) 和泉中央地区について



3

和泉中央地区について(位置)



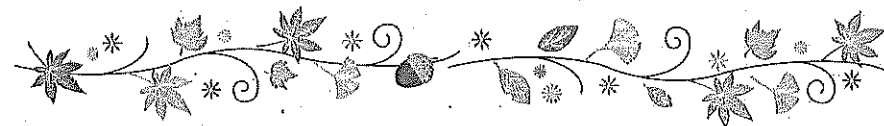
4

和泉中央地区について

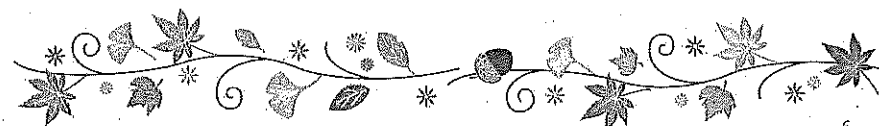
- 16町内会自治会
- 全世帯数(H27年度時点) 9670世帯
- 高齢化率 25.07%
- 高齢者サロン 8か所
- 健康体操 12教室

※ 町内会単位の食事会・サロンは活発に行われている地域です

5



(2) いこいの家のできた経緯



6

いこいの家を作るきっかけ

★自分たちに支援が必要になった時に
住みやすい街にしたい



みんなが集える場所がほしい

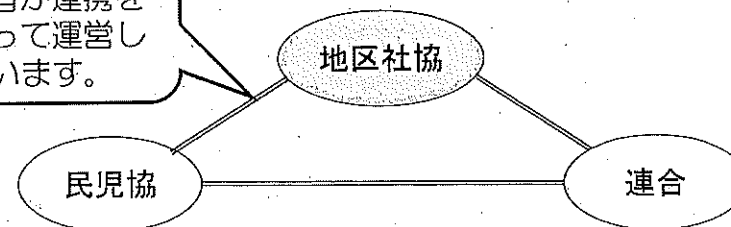
7

まず
民生委員に声を掛け



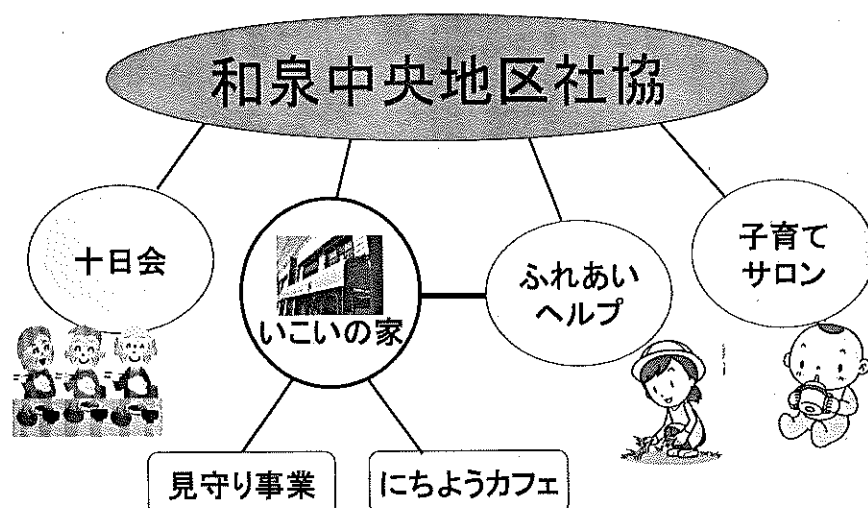
連合自治会に声掛けをした。

現在は
三者が連携を
取って運営
しています。



8

いこいの家 と 地区社協



9

「いこいの家」



立寄りやすい場所です。

場所 長後街道沿い
空き店舗利用(家賃あり)

開所日 月～金曜日、第1・2土曜日(AM)
第3日曜日(除:祝日)

開所時間 午前10時から午後4時(夏季は午後5時)

利用料 100円(お茶、コーヒーがお代わり自由)

※ 部屋の空いている「休日」「夜間」にも部屋貸し

10

いこいの家の運営

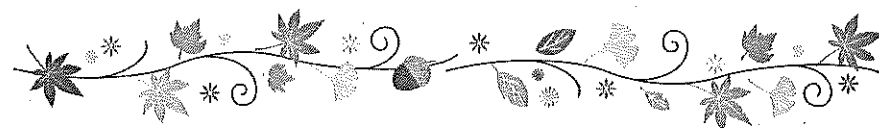
◆スタッフ

民生委員 22名 連合役員・OB 23名
いこいの家常駐スタッフ 午前・午後 各 2名

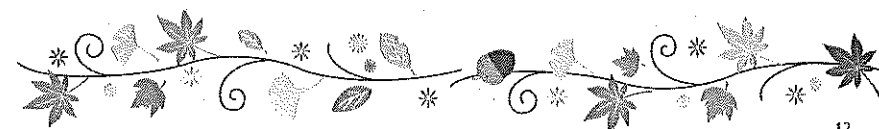
◆運営費

- ① 泉ふれあい助成金
- ② 福祉の泉助成金
- ③ 地区社協助成金(賛助会費還元金)
- ④ 利用料
- ⑤ レンタルBOX利用料等
- ⑥ いこいの家サポーター会費
- ⑦ ふれあいヘルプ分担金

11



(3)いこいの家の取り組み



12

普段の様子

サロンの様子



スタッフが常駐

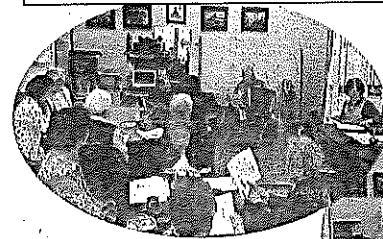


高齢者以外の方も立ち寄っています

- ★作業所帰りの障がいのある方がコーヒーを飲みに
- ★赤ちゃんや子連れのお母さんも(はまハグ協賛店)

13

イベント(端午の節句、七夕)



季節に合わせた
イベントやケアプラザ
の出張講座も行ってい
ます

場所を提供しています

音楽療法



パン販売



一緒にランチ



泉区野菜を
ふんだんに使っ
た食事です!

レンタルボックス



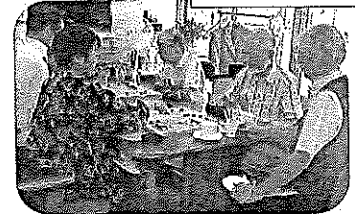
アクセサリ・
バッグ・コース
ターなど手作り
作品を展示販売
しています。

15

土曜日開催(麻雀)



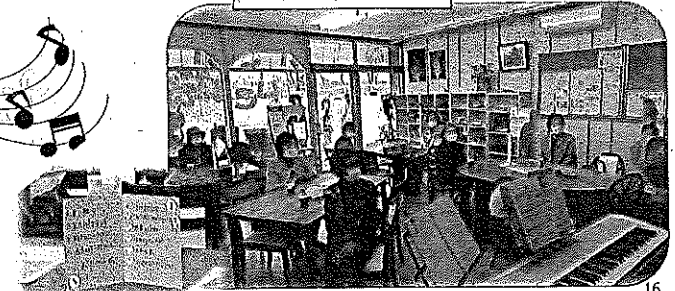
囲碁・将棋



八萬

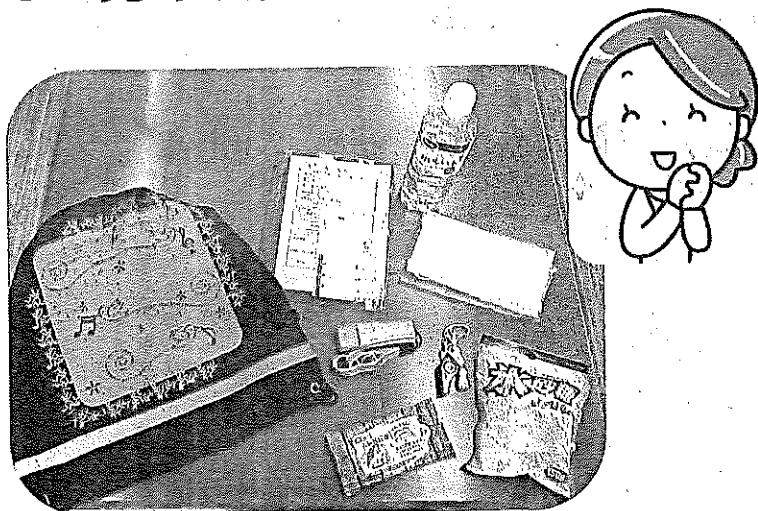


にちようカフェ

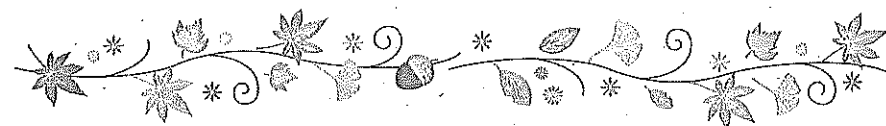


16

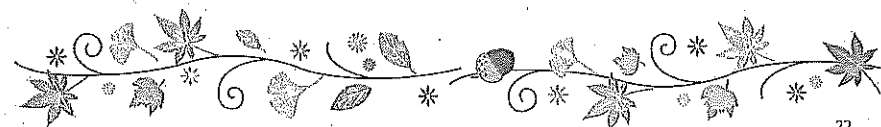
『新しい見守り活動』配布の『防災グッズ』



21



(4) 活動を続けるには・・・



22

ボランティア

活動したいという思いを大切に
(ボランティアの主体性を大事に)

- ①自分が活動したい時に活動する。
- ②無理しないで、できることをする。
- ③ボランティアが楽しんで活動する。



長く活動ができる



自分が住みやすい町づくりになる。

人の力

23

支えとなる力

資金

『いこいの家』サポーター

継続運営＝「各種助成金」＋「独自事業収入」
＋「運営費のサポート」(※)

※ 活動の趣旨に賛同の地域住民・利用者
多くの方々が「いこいの家サポーター」
として協力

24

いこいの家があって良かった！



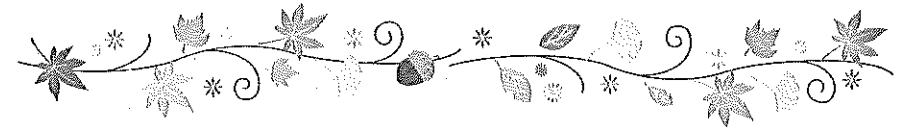
◆利用者

- ・いつでも好きな時間に立ち寄れる。
- ・スタッフが常駐する相談場所という安心感。
- ・ゆっくりと話を聞いてくれる。
- ・区社協、ケアプラザ、区役所へもつながる。

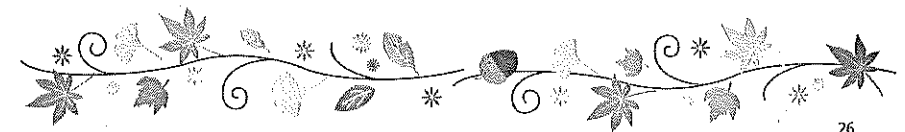
◆スタッフ

- ・スタッフ同士の関係が密になった。
- ・資料などの共有もしやすい。
- ・スキルアップ研修会で学び、自身にも有益。
- ・自分も元気をもらっている。

25



(5)これからの活動について



26

現在、行っている事業を充実させる

- ①いこいの家があることで、活動を通して住民同士の顔が見える関係に
- ②活動が広がることで、人と人がつながり、垣根のない開かれた住みよいまちづくり
- ③区社協・ケアプラザ・区役所・障がい者団体との連携を継続
- ④スタッフのスキルアップ

27

コロナ禍でも いこいの家はオープンしています！

★オープン時間

(当面の間)

午前 11:00～12:30

午後 13:30～15:00



※大人数が集まるイベントや、室内での食事は中止しています。

28



座席の消毒



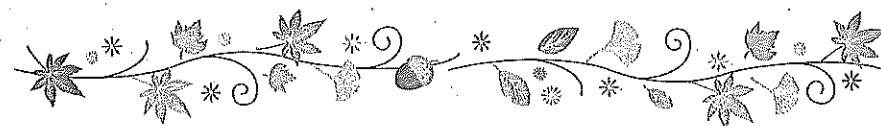
室内の換気



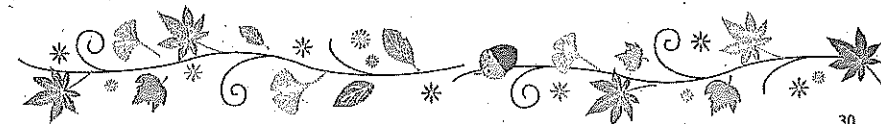
入室前の検温
や手指消毒

新しい生活様式に則ったマニュアルを作成し
スタッフ・利用者みんなで守って運営しています！

29



ご清聴ありがとうございました。



30